

「(仮称) 滋賀の県立高等学校魅力化プラン」の検討に係る地域別協議会 湖北地域 結果概要

1 会議の日時等

開催日時 令和4年11月2日(水) 14:00~15:35 (湖北合同庁舎第1会議室)

出席者	市町	氏名			
	長浜市	柴田拓也	笥 敏弘	伊藤浩行	大谷琢央
	米原市	瀧上奈津代	庄 和司	中川 修	岡島雪枝

(敬称略)

◇滋賀の県立高等学校の魅力化について

2 出席者からの主な意見

①	以前に比べると、普通科志望者は減って総合学科志望者が増えている傾向がある。また、不登校生徒や特別な教育的支援が必要な生徒等、生徒の特性が多様化しており、生徒一人ひとりに応じた支援のニーズが高まっている。近年、通信制高校へ進学する生徒も増えている。定時制・通信制や特色ある私立高校を希望する生徒が、少しずつ増えていると感じている。
②	コロナの影響もあり、ここ数年の学校現場は激しく変化している。10年~15年先を見据えて魅力的な県立高校を考えることは難しいが、誰のための魅力化なのかみんなで考えていく必要がある。
③	普通科の中に魅力あるコース等を設置するなど、この高校でしか学べないような飛び抜けた学びが必要ではないか。県立高校と琵琶湖博物館が連携して琵琶湖環境学習に取り組み、単位取得できるモデル事業に取り組んでいた例もある。例えば、今後、県内大学と連携して特化したコースを作り、県南部からも生徒が集まる高校をつくってほしい。
④	生徒や保護者の意見をしっかり聞いた上で、魅力ある県立高校づくりを進めてほしい。普通科志望の中には、学力的な視点から県南部の普通科高校へ進学する生徒はいる。普通科の中に、この高校でしか学べない特色あるコースを希望している保護者はいる。
⑤	自分が学びたいことが総合学科の各系列の中にあるということから、総合学科を選ぶ生徒が増加してきたように思う。普通科にもいくつかのコースがあれば、総合学科のように志望が集まるのではないかな。
⑥	湖北地域の中学生の多くは地元の高校を選んでいるが、県南部の高校へ進学している生徒も一定数いると感じている。例えば、スポーツコース等、普通科の中に専門性のあるコースの設置に力を入れてほしい。
⑦	より学力を伸ばせる高校を目指して、地域外の高校へ進学する生徒もいる。湖北地域の高校に特進クラスを設置して、学力を伸ばしたい生徒が湖北地域の高校を選択してもらえるような高校づくりを検討してほしい。
⑧	他地域から湖北地域の高校に来てもらうためには、駅から通にくいことが課題になり、その点を解決すれば、他地域からも来てくれるのではないかな。
⑨	家から近いというのは、中学生にとってメリットになる。各高校の特色を把握している中学生は少なく、それをしっかり中学生に浸透させるのは難しい。普通科の学びは、将来何の役に立つのか実感しにくく、なぜ普通科かを中学時代に考えることが大事。
⑩	中学生が、将来の目標をどこまで具体的にイメージしているのか。将来のビジョンを持っていない中学生の中には、とりあえず高校に行っている者もいると思う。中学生の段階で、それぞれの県立高校にどんな特色・魅力があるのかを知ってもらうことは大切ではないかな。

⑪	強い意思を持って高校選択している生徒もいれば、見通しを持たずに高校選択している生徒もいる。
⑫	キャリア教育は中学校や高校だけに任せたものではなく、小学校から積み上げていくものと思っている。
⑬	長浜市では、以前から英語教育に力を入れていた。高校と市がタッグを組んで取り組めることがないか感じているところである。
⑭	それぞれの高校が強みを持ち、卒業後の出口がはっきりアピールできると高校の魅力になるのではないか。基本方針に記載しているアンケート結果では、生徒、保護者、教職員それぞれの意見に溝が生じているように感じる。その溝を埋めることで、高校の魅力は高まるのではないか。
⑮	高校生自身が、当事者意識を持って自分の高校を魅力的にしていければと思う。
⑯	私学の授業料実質無償化の影響で、私立高校の魅力化が進んでいるように感じる。県立高校がそこにどう対応するのかも、子どもたちにとって関心が高いのではないか。
⑰	長浜市の大きな課題の一つは、多くの若い世代が市外へ転出していくことである。市内に留まってくれる環境づくりが最優先課題と考えている。人口減少とともに、地域の高校へ通う生徒が減っている。全県一区制度は、中学生の立場からはいい制度だが、地域を離れていくきっかけになっている。
⑱	子育て世代が居住地を選ぶ際に、魅力ある高校・大学が近くにあるかどうかは重要な視点になる。魅力ある高校がないと人口減少を加速させることにもなることから、湖北地域での魅力ある高校づくりは重要である。この地域にしかない特色ある学びを、地域や産業界も関わって考える必要がある。
⑲	高大連携によって特色ある学びの創出を図り、また、高校と産業界が連携して地域で働く人材の確保につなげることも重要と考えている。地域としても、高校卒業後の出口を見据えた学びを考えていく必要があると考えている。
⑳	近年、テレワークが進んでおり、必ずしも都会に出ないと仕事ができないわけではない。地域への愛着を育成する高校教育に取り組んでほしい。
㉑	米原市では給付型奨学金制度を導入している。一旦地域を離れても地元に戻ってきて就職する人たちを支援する制度であり、この制度を大切にしていきたい。
㉒	高校と地域との連携強化を進めるためには、伊香高校に地域連携コーディネーターを配置したように、高校と地域を結びつけるための仕組みを高校と地域が共に考えていく必要がある。
㉓	子どもたちが地域外の高校・大学へ進学しても、将来地元に戻ってくるように学校と地域が一緒になって取り組んでいくことが必要であり、コミュニティ・スクールは重要な取組だと思う。どの高校でも、そこでしか学べない教育課程を編成し、その結果、志望が集まる高校づくりを進めてほしい。そして、最も重要なことは、それぞれの高校の良さをしっかり周知することだと思う。
㉔	他校にない特徴的な学びがあれば、その学びを求めて遠方から来てくれることも考えられる。広域からの通学方法も考えていく必要があるので、高校と地域が協力して考えていく必要がある。
㉕	湖北地域の子どもの数が減っていくことに伴って、湖北地域の高校の学校規模が小さくなっている。県南部から来てもらえると、湖北地域の高校の学校規模も大きくなるのではないか。
㉖	他府県の事例では、山間部にあっても魅力ある学びを設置している高校には生徒が集まっている。県立高校は様々な特色ある学びに取り組んでいるが、それが生徒や保護者に伝わりきっていない。年配の世代は、高校に対して昔のイメージが強い。情報発信は重要と思う。
㉗	湖北地域は人口減少地域であることから、中学校と高校はしっかり連携し、地域全体で魅力あ

	る学校づくりを進めていく必要がある。
⑳	今後の取組の方向性に、部活動のことが記されている高校は多いので、そのための環境整備も必要ではないか。
㉑	人口減少が進む地域ほど学校の存在は大きい。地域から高校がなくなると、地域の活力低下につながる。高校には一定の規模は必要だが、高校が地域にあり続けられるように特色ある高校づくりが重要である。地域も一緒に考えていく必要がある。

※発言順不同